

学校評議員会の実施報告書

ホームページへの掲載	
済・未	7月22日掲載予定

岐阜県立関特別支援学校

校長 岩塚 政司

学校住所 関市桐ヶ丘一丁目2番地

電話 (0575) 22-4238

- 1 会議の名称 岐阜県立関特別支援学校 学校評議員会
- 2 会議の構成 【 学校評議員 】
遠藤 俊三 関市社会福祉協議会会長
(50音順) 小野木 秀夫 関市民生委員
白幡 久美子 中部学院大学短期大学部教授
中上 達美 社会福祉法人美谷会エリアちゅうのうみに管理長
林 映二 卒業生・Man to Man Animo 株式会社 Web 事業部マネージャー

【 学校職員 】
岩塚 政司 校長 吉田 晃樹 小学部主事
本多 正和 教頭 杉本 雅晴 中学部主事
古田 智富 事務部長 今井 直弘 高等部主事
- 3 会議の目的 学校運営について地域住民や学識経験者から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた活力ある学校づくりを推進する。
- 4 会議の開催 平成26年7月1日(火) 10:00~11:30
岐阜県立関特別支援学校 小会議室
会の内容(主な議題等)
(1) 授業参観
(2) 校長あいさつ(学校評議員委嘱)
(3) 出席者自己紹介
(4) 平成26年度の教育計画及び各学部の様子について
(5) 高等部作業学習製品の販売価格について
(6) 授業参観の感想や関特別支援学校についてのご意見等
(7) その他
- 5 会議の概要
校長あいさつ
・本年度の学校評議員をお願いいたします。よい学校、開かれた学校をつくる上で様々な角度から、様々な意見をお聞かせ願いたい。
・今年度学校として大事にしたい点が3点ある。1つ目は、安心安全な学校であるという点です。非常変災時における現実的な対応や児童生徒のいじめ問題、また職員の体罰問題等絶えず気を付けて学校運営を行っていきます。2つ目は、専門性の高い教育を実施していくという点です。児童生徒が今日学んだことを大切に、明日は何を学ぶのか期待できる授業を展開したい。3つ目は、将来を見ずえた支援体制の確立です。保護者、関係機関との連携は当然として、今年から小学校、中学校との居住地校交流が始まり、地域との連携を十分とりながら実施していきます。

- ・当校にあっては生徒数の減少に直面している。また、岐阜県の各地域に特別支援学校を設置するという方針のもと、関特別支援学校も変化が求められている。まずは、来年度から病弱の児童生徒を受け入れることとなる。また、その先には、一般就労をめざす知的障がいの生徒を受け入れについて検討している。

テーマ1 平成26年度の教育計画及び各学部の様子について

学校から以下について説明を行った。

- (1) 学校の教育目標、学校経営の方針について
- (2) 児童生徒の実態（児童生徒数、通学状況、出身地域、身辺自立、医療的ケアの状況等）、卒業後の進路、特別支援教育の動向、学校課題について
- (3) 各部主事による小学部、中学部、高等部の児童生徒の状況、指導の目標、教育課程、行事について

テーマ2 高等部作業学習製品の販売価格について

学校から本年度の作業学習の製品の販売価格について説明を行った。

テーマ3 授業参観の感想や関特別支援学校についてのご質問、ご意見等

- 質問1 高等部の進路状況について、13名中11名が障がい福祉サービス利用でそれ以外が就職の2名しかいらっしゃらないですね。
- 学 校 昨年の卒業生は障がいを併せ有する重度の生徒が多く、ほとんどが障がい福祉サービス利用となった。就職の2名は高等学校に準ずる教育課程を学んでいるA類型の生徒たちである。
- 質問2 B類型の生徒さんも就労できると思いますが、B類型の生徒さんはいませんでしたか。また、C類型の生徒も就労できると聞いていますが、どうでしょうか。
- 学 校 ご指摘のように昨年度はB類型の生徒はおりませんでした。また、C類型の生徒も昨年ではないですが、就労した例も聞いています。生徒の状態の幅が広いのがC類型の生徒たちです。
- 質問3 これくらいの規模の学校となると多くの先生がおられ、また、教育を取り巻く環境の複雑化の中で、体調を崩す先生も多いと思います。管理職の先生方は職員の健康やメンタルのケアをどのように実施してみえるのですか。
- 学 校 職員の健康面については人間ドック受診を励行し、その結果を管理職で掌握している。また、岐阜県が実施する健康セミナー等を紹介し、参加を勧めている。最近は、精神的なストレスを感じる先生が多いと感じている。各部主事が先生とコミュニケーションをとりながら、場合によっては対外的な機関とも連携し対応している。現在は、精神面で病気休暇をとっている先生はいない。
- 質問4 重度の児童生徒が増え、生徒数が減っているというのは、普通学校に在籍する児童生徒が増えているということなのですか。
- 学 校 肢体不自由の児童生徒の全国的な傾向として、普通学校に在籍する生徒が多くなっている。進行性の障がいの場合は特別支援学校を選ばれるが、保護者の願いとしては肢体不自由であれば普通学校でという思いが強いと感じている。
- 意見1 高等部作業学習製品の販売価格については適当と考えます。製品については、5月のふれあいまつりの際に、陶芸コースの皿を購入しましたが、もう一回り大きな皿があるといいと思いました。
- 障がい者に携わるというのは、今の社会ではまだマイナーであると私自身も考えている。先生方のモチベーションを絶えず高め維持できるような対応をお願いしたい。
- 質問5 寄宿舎で生徒に対応しているのは先生方が行ってみえるのですか。

学 校 岐阜県の選考試験で採用された寄宿舍指導員が対応しています。現在は、16名ですが、うち5名は常勤講師として勤務しております。

質問6 この学校で働いてみえる方の身分はすべて岐阜県職員なのですか。

学 校 ここで働いているのは教諭、常勤講師、非常勤講師、看護講師、事務職員等であり、県が採用した職員です。その他に岐阜県採用ではないが、スクールバス運転手、バス添乗員が働いており、全てを含めれば120名を超える職員が働いています。

6 会議のまとめ（校長より）

来年度から中濃特別支援学校の一部の高等部生徒が関特別支援学校の教室で学ぶことになっていますが、それに伴い、10月より校内工事を実施する予定です。次回1月の学校評議員会では、まだ校内が雑然としている状態かもしれませんのでよろしくご理解ください。本日は、当校の教育活動や学校課題に対して、幅広い観点から貴重なご意見を伺うことができ、ありがとうございました。